

令和5年6月

和泉市立光明台中学校校区かがやけ学園 光明台中学校

第479号



学校通信

〒594-1111
和泉市光明台 1-28-1
Tel:0725-56-3220
Fax:0725-56-4714

時間の大切さについて

校長 渡邊 美佐子

5月29日、気象庁は、九州北部から東海地方の梅雨入りを発表しました。近畿地方の5月の梅雨入りは10年ぶりだそうです。31日からの3年生の修学旅行時の天候を心配しています。

また、これから気温が上がってくると、生徒のみなさんには、熱中症の予防に努めてほしいと思います。特に部活動においては、意識して水分補給や休憩を取るように心がけましょう。

さて、今月は「時間」について、考えてみたいと思います。学校という集団生活の場において、時間を守るということは言うまでもありません。授業においても、「チャイム着席」や「五分前行動」といったような目標が、クラスや学年でも掲げられているように、始まりの時間を意識し、時間の見通しをもつことを先生方からも指導されていることでしょう。

「光陰矢の如し」「時は金なり」というような時間に関することわざや格言は数多くあります。「時間」という概念はおそらく人間だけが有するもので、目に見ることのできない「時の流れ」に対して、人は特別な関心を抱いていたようです。

「一日二十四時間、世界中どここのどんな人間にも与えられているものは時間しかない。この時間をどう使うかによって人の生き方が決まってくる。」世界的な自動車メーカーである本田技研工業の創業者の本田宗一郎さんの言葉です。貧しい家に生まれ、静岡県の中工場から苦労を重ね、世界のホンダにまで育てあげた本田宗一郎さんですが、私自身も含め、時間をもっと意識して、毎日を過ごす必要があるのではないかと考えています。

人はそれぞれ、与えられた環境や能力が異なります。それが多様性というものであり、一人ひとり、得意不得意があり、個性をもっています。しかしながら、時間だけは、すべての人に平等に与えられており、世界中どこへ行っても一日は二十四時間、一年は三六五日であるが故に、その時間をどう過ごすかが大切であり、時間をどう使うかで自分の人生を変えることができるのです。

永遠の命をもたない私たち人間にとって、時間は有限です。人は限られた時間の中で、文化を育て、科学を発展させてきたのです。まさに、有限である時間の使い方によって、無限の可能性を広げてきたと言えるでしょう。

光明台中学校の生徒の皆さんには、その貴重な時間を自身の成長のためだけでなく、周りの人のためにも使ってほしいと思います。「時間は有限、可能性は無限」を意識し、これからの毎日を有意義に過ごせるよう努力していきましょう。

1年生の宿泊学習

1年生は、5月の25日・26日、兵庫県のハチ北高原で宿泊学習を実施しました。天候にも恵まれ、初日は登山、レクリエーション、2日目は飯盒炊飯を行いました。子どもたちは、時間・ルールを守り、班やクラスで互いに協力し合いながら、各プログラムに積極的に参加していました。



カウンセリングについて

6月6日(火)・8日(木)・9日(金)・13日(火)・14日(水)の放課後、担任の先生と生徒によるカウンセリングを実施します。日頃は、個別にじっくり話す機会をもてないこともあり、この機会に学校生活で困っていることや悩んでいること等、どんな小さなことでもよいので相談してみてください。

声に出して悩みを打ち明けることで、重い気持ちが多少は軽くなるかもしれません。また、対話することで、自分の今の状況がどういうものなのかを整理することができます。みんなが不安なく登校し、学習できる環境をつくるためにもカウンセリングの時間を大切にしたいと考えています。

担任の先生以外のカウンセリングを希望する人は、児童生徒支援 Co の西口先生に相談するようにしてください。

tetoru への登録にご協力をお願いします。

学校では今、プリント類の配布などで多くの紙を消費しています。今後、登録が進めば、紙媒体に変わるお知らせの手段として活用したいと考えています。

以前に登録方法を記載した用紙をお配りしていますが、登録の方法が分からない保護者の方は、教頭の板東までお知らせください。